

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 28 日
更新日 令和 年 月 日

| | | | | | |
|--------|----------|-----|-----------------|---------|-------------|
| 総合計画体系 | 政策No. 2 | 政策名 | ともに生き支えあうまちの形成 | 施策主管課 | 保健福祉部 健康増進課 |
| | 施策No. 11 | 施策名 | 保健・医療の推進 | 施策主管課長名 | 齊藤 美穂 |
| 施策関連課名 | | | 国保年金課、(消防本部管理課) | | |

1 施策の目的

| | |
|------------------------------|--|
| ① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等 | ② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか) |
| 市民 | 市民が自発的に健康診断や予防接種をうけて自分の健康に関心がもてるようになる。また、健康教育や栄養指導を積極的に受診するなどして自分の健康は自分で守るようになる。 |
| 対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標 | 意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標 |

2 指標の推移、指標設定の根拠等

| 指標区分、指標名 | | 単位 | 数値区分 | 基本計画現況値 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 | |
|-------------------------|---|--|-------------|------------|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| ① 対象指標 | ア 人口 | 人 | 見込み値 実績値 | | | 72,322 72,305 | 72,001 72,018 | 71,680 71,880 | 71,359 71,602 | 71,038 | |
| | イ | | 見込み値 実績値 | | | | | | | | |
| | ウ | | 見込み値 実績値 | | | | | | | | |
| | ② まちづくり指標 | A 特定健診の受診率 | % | 目標値 実績値 | | | 54.4 53.0 | 57.2 54.2 | 60.6 55.1 | 60.6 55.1(概算) | 60.6 |
| | B 安心して医療を受けられることができると感じている市民の割合(救急医療体制の満足度) | % | 目標値 実績値 | | | 48.0 41.1 | 48.5 40.8 | 49.0 41.5 | 49.5 48.8 | 50.0 | |
| | C 高齢者のインフルエンザワクチン接種率 | % | 目標値 実績値 | | | 62.2 62.5 | 62.4 62.2 | 62.6 59.6 | 62.8 61.7 | 63.0 | |
| D 食に関する研修会等への参加人数 | 人 | 目標値 実績値 | | | 6,360 8,081 | 8,100 9,102 | 8,100 10,183 | 8,100 9,222 | 8,100 | | |
| E 医療機関に4回以上照会をおこなった救急件数 | 件 | 目標値 実績値 | | | 100 113 | 97 102 | 94 134 | 91 105 | 88 | | |
| まちづくり指標設定の考え方 | | <p>A:生活習慣病予防に関する成果を示す。 【受診者数÷対象者数(国保に加入している40歳~74歳)×100】 B:医療提供体制に対する市民の安心感を示す。 【市民アンケートの『医療機関の救急医療体制に満足していますか』において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】 C:感染症予防の効果を示す。 【予防接種実施者数÷インフルエンザ接種対象者(10月1日現在)×100】 D:健康保持や生活の質の向上への支援に関する成果を示す。 【食生活改善推進員が開催した教室に参加した市民の数】 E:救急医療体制の充実度を示す。 【救急出動で、医療機関に受入の照会を4回以上行った件数】</p> | | | | | | | | | |
| 目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等) | | <p>A:市特定診査等実施計画に基づき29年度目標値60.6%を設定 B:現行の救急医療確保対策事業の啓発や救急医療の適正利用に関する啓蒙を行い、5年間で約3%の上昇を見込み目標値を設定 C:5年間で約2%の増加を見込み目標値を設定 D:研修内容の向上を目指し、H27年度実績(8,081人)の参加者を今後も目標として設定 E:H24年を基準に、5年間で約20%の減少を目標値として設定</p> | | | | | | | | | |

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

| 区分 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和元年度 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 関連事業本数 | 59 | 57 | 64 | 64 | 68 | 59 | 55 |
| 関連事業予算額(単位:千円) | 1,219,429 | 1,228,403 | 1,983,574 | 2,102,102 | 2,191,995 | 2,365,296 | 2,112,355 |
| (予算額の内訳) | | | | | | | |
| 国庫支出金 | 33,656 | 30,837 | 36,326 | 74,303 | 75,411 | 79,360 | 77,210 |
| 県支出金 | 237,575 | 232,944 | 334,547 | 361,660 | 361,492 | 362,896 | 338,738 |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 61,900 | 266,300 | 0 |
| その他 | 264 | 1,070 | 8,052 | 9,721 | 10,418 | 10,946 | 13,004 |
| 一般財源 | 947,934 | 963,552 | 1,604,649 | 1,656,418 | 1,682,774 | 1,645,794 | 1,683,403 |

4 評価結果(施策の有効性評価)

| | |
|---|---|
| ① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較) | |
| <input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった | ※左記の理由 ・救急医療の満足度については、前年度より増加し目標値に近づいている。 ・高齢者インフルエンザ接種率については、H29年度減少したが経年的にみると接種率は、ほぼ横ばい傾向だが目標値には近い。 ・救急医療体制は、ほぼ横ばい傾向。 |
| ② 時系列比較(基本計画現況値からの推移) | |
| <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した | ※左記の理由 ・特定健診受診率は、目標値は下回っているが年々増加傾向にある。 ・食に関する研修会への参加人数は、昨年より減少したが目標数以上である。 |
| ③ 他自治体との成果実績値の比較 | |
| <input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である | ※左記の理由 ・特定健診受診率については、目標値を下回っているが年々増加傾向にある。県内の市の中では二番目に高い受診率となっている。 |

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

| 施策の課題 (現状の問題点) | 課題解決の方向性 |
|--|--|
| 市の休日夜間診療及び2次救急は中巨摩医師会に協力いただいて体制を整えている。5年後、医師の働き方改革が制度化されると、現在のこのような体制の継続は厳しくなるため、甲府圏域などとの広域化が必要。 | 県、甲府市及び中巨摩の市町と甲府市及び中巨摩医師会と救急医療の広域化に向けた話し合いを継続している。市の高齢化を考慮すると、段階的な広域化が必要と思われるため、話し合いを重ねていく必要がある。 |
| 特定健診の受診率は、目標値には至らないが増加傾向にあるが、40～50代男性の受診率は低く横ばい状態が続いている。 | 健診の勧奨については、愛育会のロコミや回覧で周知している。健康リーグ対象事業としても協力団体を通じて勧奨している。また、生活習慣病治療者については、かかりつけ医からの情報提供で受診率を延ばしている。今年度は、特に、薬剤師会に受診勧奨及びかかりつけ医からの情報提供の案内を依頼する予定。健診3年間の未受診者には個別通知をして、受診者にはインセンティブを提供して受診者の増加を目指す。 |
| 生活習慣病(高血圧症、糖尿病など)からの重症化により、医療費が増加傾向。 | 今年度、健康リーグの中で生活習慣病予防及び重症化予防事業として、ウォーキングを中心にした健康づくりを広めていく予定。3か月間取り組んでもらい、健康状況の変化を検証する。今年度の成果で来年度以降の事業拡大を検討していく。 |